



名鉄ハイキング

笠松エリアをおもてなし



にぎわう美濃郡代陣屋跡

名鉄沿線ハイキング「イベント満載!笠松刑務所矯正展と笠松競馬場内を歩く!コース」が、10月21日に新木曾川駅をスタートし、笠松駅をゴールとする約9kmのコースで開催されました。

あいにく当日は雨模様でしたが、県内外から大勢の方が笠松町を訪れました。

また、この日は名鉄ハイキングに合わせて、競馬場で秋まつり、刑務所では矯正展が行われており、普段足を踏み入れたことのない方でも気軽に立ち寄れるイベントが盛りだくさんとなっていました。

町内の至る所では、「魅力ある町を知ってほしい」「楽しんでほしい」と願うボランティアの方が参加者の皆さんを歓迎し、温かい気持ち溢れる笠松町を満喫していただきました。

連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結

笠松町では、岐阜市を中心とする連携中枢都市圏の形成を目指した取り組みを連携意向の市町(山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、北方町)と進めており、11月2日、岐阜市役所で、岐阜市と「連携中枢都市圏の形成に係る連携協約書」を締結しました。また、連携意向の各市町も同日、岐阜市とそれぞれ連携協約を締結しました。

連携協約では、連携中枢都市圏形成の目的をはじめ、連携する取組みや役割分担、取組みに要する費用の分担は双方が協議して定めることなどを明記しており、岐阜市と連携市町の協力のもと、圏域全体で人口減少と少子高齢化に対応し、活力ある社会経済を維持するために取組んでいきます。



握手を交わす各首長

第4回羽島郡 介護の日フェア



ふれあい喫茶で
和菓子を賞味する参加者

11月11日、在宅医療や介護を理解し、介護予防を身近に感じる機会として、笠松中央公民館で「第4回羽島郡介護の日フェア」を開催しました。当日は式典や映画、イベントを含め約120人の方の参加がありました。

式典の後に映画「はなちゃんのみそ汁」を上映し、午後からは、出張ふれあい喫茶(認知症カフェ)、介護予防のためのロコモチェック、認知症の早期発見のための簡易チェック、心肺蘇生法実習、あん摩マッサージ体験や介護に関わる情報を展示しました。

在宅医療と介護の情報を見られた方から、「今後介護が必要になったら?」という質問を受け、地域包括支援センター相談員が個別に相談を受けました。

また、出張ふれあい喫茶(認知症カフェ)では、笠松菓子工業組合が「高齢者にやさしい和菓子」というテーマで、のど越しがよく季節感のある水羊羹を考案され、元気ボランティアの協力で多くの方にご賞味いただきました。「あっさりして食べやすい」「お茶をのみ、ゆっくりした時間が過ごせた」という声が聞かれました。

ロコモチェックでは、運動器症候群を早期に発見し、予防するための体力測定を行い、体験した一人ひとりが理学療法士と管理栄養士からアドバイスを受けました。